

ライブストリーミングを楽しむ(17)
-110回 TWILIGHT CONCERT-

1. 始めに

110回 TWILIGHT CONCERT と称する無観客ライブの公開の案内があり、視聴してみました。

<https://pr.ijj.ad.jp/live/>

<https://www.ijj.ad.jp/news/concert/2020/pdf/twilight110.pdf>

2. ライブストリーミング情報入手源と PC および使用機器環境

110回 TWILIGHT CONCERT は次のようなプログラムです。

「歌芝居《良き報せ》～ベートーヴェン生誕 250 年を記念して」

2020 年 11 月 19 日 (木) 開演 18:30 終演 19:30

三井住友銀行東館ライジング・スクエア 1 階アース・ガーデン

プログラム構成：

歌芝居《良き報せ》(トライチュケ作詞)

序曲 (フンメル作曲)

第 1 曲 アリア (ギロヴェッツ作曲)

第 2 曲 アリア (モーツァルト原曲)

第 3 曲 三重唱 (ヴァイグル作曲)

第 4 曲 四重唱 (フンメル作曲)

第 5 曲 二重唱 (フンメル作曲)

第 6 曲 アリアと合唱 (カンネ作曲)

第 7 曲 合唱付きの歌 (フンメル作曲)

第 8 曲 最終曲 (ベートーヴェン作曲)

出演：

渡邊仁美 (ソプラノ)

鈴木 准 (テノール)

藪内俊弥 (バリトン)

二期会合唱団 (声楽アンサンブル)

■ソプラノ：田貝沙織、松原典子

■アルト：喜田美紀、人見珠代

■テノール：木下 進、園山正孝

■バス：杉浦隆大、田中夕也

三ツ石潤司（ピアノ）

小宮正安（おはなし）

110TWILIGHTCONCERT プログラム

3. ライブストーリーミングの経過

TWILIGHT CONCERT は東京大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」と題して大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうべの音楽」をテーマにしたコンサートですが、今回も無観客で配信のみに参加です。

ナポレオンの失脚後、お祭り気分につつまれたウィーンで、ベートーヴェンら当時の作曲家の共作によって生まれ、大ヒットした作品のピアノ版だそうです。

詳しい解説つきでしたが、サイトの解説は以下のとおりです。

序曲（フンメル作曲）

第1曲 アリア「時が経つのはなんと早いの」（モーツァルト原曲）

居酒屋の娘ハンヒェンが祖国の防衛のために旅立つ恋人に想いを馳せて歌うアリア。いきなり不安や希望も持てないだの悩める娘っぷりを歌いあげます。

第2曲 アリア「新しい報せには目がないぞ」（ギロヴェッツ作曲）

娘の居酒屋を営む父のアリア。連合軍の吉報を信じてやまない、悩める娘も娘ながら父親も突き抜けています。

第3曲 三重唱「急げ 名誉のために」（ヴァイグル作曲）

悩める娘・ハンヒェン、その父ブルーノ、そしてヒーロー・ローベルトの三重唱。

「恋人を戦場に送るなんて悲劇的な私!」、「勝ち急ぐその父親」、「恋人にちょっぴり不安を煽りつつも祖国愛を見せている男」→結果、勝って生きて帰ってくれば全て解決という内容の歌。

第4曲 四重唱「適齢期の若者が」（ヴァイグル作曲）

お決まり、お金持ちのヒール役登場。その名もジュースリヒ。ハンヒェンを自分のものにしようと父親をしかける。権力とお金を父の前にちらつかせ、それにまんまと揺れ動く父親。そこへやってきました「良いお知らせがあると」突然現れるスーパーヒーロー『突撃隊長(ちなみにこの人はローベルトの上官。役名がジワリときますね)』。ここでびっくり発言が父親から飛び出します。「結婚はより良い報せを持ってきたほう」と、なかなかの人でなしふりを発揮します。いまやったら人権問題云々で一発アウトでしょう。この驚きの発言に、ほんとに驚く娘。喜劇か悲劇かわかりやしない。

第5曲 二重唱「帰っておいて愛しい鳩よ」（フンメル作曲）

天秤にかけられてしまった娘と何が何でもあなたを応援する突撃隊長のデュエット。さていよいよお話も大詰め。

第6曲 アリアと合唱「今日の目撃情報では」（カンネ作曲）

第7曲 合唱付きの歌「ほら、みなさん、見上げてください」 (フンメル作曲)

第8曲 最終曲「ゲルマニア」 (ベートーヴェン作曲)

終章のゲルマニアは、ベートーヴェンの第9を思い出させる曲です。



4. まとめ

非常に珍しい曲の演奏で、バランスアナログアキュライザーが加わったことによ

り、音質はこれまでの YouTube などの限界を超えた感があり、ライブ感は十分出ています。演奏会開催ができない間、こういった企画で演奏家と音楽愛好家を繋ぐ手段としてあってもいいと思われれます。

以上